

令和6年11月29日

保護者の皆様

マルガリタ幼稚園
園長 近江谷 綾音



夏から秋に移行する時間はもどかしささえ覚えましたが、冬は一気にやってきたように感じます。暦は来週から12月。カレンダーの最後のページです。

マルガリタ幼稚園はカトリックの園として、この時期をとっても大切にしています。クリスマスに向かう、クリスマスを待つ日々＝「待降節」の中で、子どもたちの心が準備されていくからです。

クリスマスは、神様でいらっしゃるお方が赤ちゃんの姿で人間としてお生まれになった日ですので、世界中でお祝いします。父なる神様はイエス・キリストを最高のプレゼントとして私たちに送って下さいました。その時の神様の御心、思いを深く感じとることが大切です。そこには神様の愛がかくされています。

そして、クリスマスの主人公は、もちろんお生まれになったばかりの赤ちゃんイエス様です。しかも馬小屋の中、ベッドは飼い葉桶。でも、おそばにはマリア様とヨゼフ様が、そして素朴な羊飼いたちがいました。ベツレヘムの馬小屋は、家庭の原点であり、世界平和の原点であると思います。

今、戦下の地で、クリスマスを迎える多くの子ども達のために祈り、小さな愛の実行をご家族で話し合ってください。今年もマルガリタ幼稚園として、「クリスマス献金」(別紙)に参加したいと思います。

12月7日(土)は、一足早いマルガリタ幼稚園の「クリスマス遊戯会」です。皆様への感謝として子どもたちは、喜んでこの会をプレゼントすることでしょう。ご来場お待ちしております。



1) クリスマス遊戯会の総練習と集合写真について

12月2日(月) 年長組の聖劇総練習

12月3日(火) いちご組、年少組、年中組の総練習

※他学年のダンスや遊戯、劇、聖劇を見学します。また、この総練習の時に舞台上で、**集合写真の撮影**をクラスごとに行います。

2) クリスマス遊戯会準備について

12月6日(金)は、クリスマス遊戯会の準備のため**午前保育**です。

3) クリスマス遊戯会について

12月7日(土)

詳細は、先日の「クリスマス遊戯会」のお知らせをご確認ください。

4) マルガリタ文庫閉館日について

12月11日(水)この日は返却のみです。

5) 12月のお誕生会について

12月11日(水)10時よりホールにて。12月生まれのお子様の保護者の方、お祝いにいらしてください。2名と未就園児が参加できます。(いちご組は、保護者の参加はできません。ご了承ください。)

6) お弁当最終日について

12月17日(火)がお弁当の最終日になります。

毎日おいしいお弁当を作ってくださいありがとうございました。

7) 預かり保育のおやつについて

チョコレート、ガム、飴、チューイングキャンディやキャラメルは禁止です。

中にチョコレートが入っているクッキー(成分表に「チョコレート」と書いてあるものを含む)なども避けてください。



今冬の「インフルエンザ」罹患後の登園許可証について

「季節性インフルエンザと診断された場合、『登園許可証』が必要です。」
(その他の感染症も同様)

園児が「検査陽性」または、「臨床上季節性インフルエンザ」と診断された場合、
発症時に必要な出席停止期間の見込みを記入の上、登園許可証を発行していただきます。

※出席停止期間は、発症後5日を経過し、且つ、解熱後2日（幼児は3日）を
経過するまで。

※登園許可証は、事務室交付、またはホームページよりダウンロードができます。

今までと同様、引き続き以下のことをお願いいたします。

- ・同居している家族がインフルエンザに罹った場合、園児本人が罹っていない
時でも登園を控えてください。(出席停止の扱い)
- ・ご家族の中で、兄弟の学級閉鎖、学年閉鎖などがあったとしても、
兄弟が罹っていなかった場合、登園は可能です。

【未就園児のイベント】

12月9日（月）おそとひろば10時00分～

2学期最後のおそとひろばです！良かったら遊びにいらしてください。

待降節について



幼稚園での待降節 12月2日（月）～12月16日（月）まで

① 待降節の実行について

幼稚園では、イエスさまへのプレゼントは心のプレゼントです。我慢する心、やさしい心、感謝の心・・・ご家庭でも子どもたちと話し合っ、イエス様への心のプレゼントを準備して、クリスマスを迎えましょう。ご協力をお願いいたします。

② クリスマス献金について

今年1年間いただいた恵みに感謝し、イエスさまが一番喜ばれるプレゼントを目に見える形として、クリスマス献金にいたします。まだ幼い子どもたちですが、小さいうちから地球の家族の一員として、貧しさを余儀なくされているアジア、アフリカ、南アメリカなどの人々、また、日本でも6人に1人の割合で貧困家庭の子どもたちがいること、難民として沢山の子どもたちが苦しんでいることを話して聞かせ、子どもたちなりに苦しむ方々の痛みを感じながら、献金ができたらと思います。

自分の欲しい物や、好きなお菓子を少し我慢して、子どもたちが実際に痛みを感じたものになるようにご指導ください。

本日、お配りした献金袋に入れて12月16日（月）に持たせてください。

家族揃って献金をしてくださるご家庭もあって、とてもありがたいことだと思っています。その献金は、日本カトリック児童福祉会を通して今一番必要とされているところにお送りしたいと思います。送り先は後日お知らせいたします。

献金と我慢した心のプレゼントは、終業式の中でクラスの代表の子どもがお捧げします。忘れずに持たせてください。

【 お 願 い 】

献金袋の中に、**献金と我慢したもの、我慢したことを紙に書いて**入れてください。

例えば・・・○日と○日のおやつを我慢しました。

お母さんはコーヒーを我慢しました。 など